



作成 2022年10月 5日

 茅野商工会議所

目 次

① 環境方針.....	1
② 組織の概要.....	2
③ 認証・登録の対象組織・活動.....	3
④ 実施体制図.....	4
⑤ 環境負荷の実績（基準年度）	5
⑥ 環境目標とその実績（活動期間）	6
⑦ 環境活動計画及び取組結果とその評価.....	7
⑧ 今後の取組内容.....	8
⑨ 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並び に違反、訴訟の有無	9
⑩ 代表者による全体の評価と見直し.....	10

環 境 方 針

基本理念

茅野商工会議所は、茅野市の産業・経済の振興を目的として、地域社会の発展と福祉の向上に貢献すると共に、八ヶ岳の裾野に広がる恵まれた自然環境を守り、将来にわたって維持されることが最重要課題の一つである事を認識し、持続可能な循環型社会の構築に向けて、全役職員が一体となって積極的に環境の保全や負荷の低減に努めます。

方 針

茅野商工会議所は、事業活動及びサービスにより生じる環境負荷を低減するために、以下の事項について、環境目標・環境活動計画を定め、環境経営活動を推進して環境との調和を目指します。

1. よりよい環境水準を目指した活動（適宜見直しを行います。）
 - （１） 二酸化炭素排出量の削減
 - （２） 廃棄物排出量の削減及びリサイクルの促進
 - （３） 水使用量の削減
 - （４） 紙使用量の削減
 - （５） グリーン購入の促進
 - （６） 会員サービスの向上
2. 環境関連法規及び当所が同意した事項を遵守します。
3. 職員に対して環境教育を実践します。
4. 会員企業へ環境活動の啓発を推進し、エコアクション21を推奨すると共に、認証・取得を支援します。

この環境方針は、全職員に周知すると共に、会議所ニュース・ホームページなどにより開示し、啓発活動に努めます。

制定日 2010年 6月10日

改定日 2014年12月26日

茅野商工会議所
専務理事 守屋 正光

○組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
茅野商工会議所
専務理事 守屋 正光

- (2) 所在地
長野県茅野市塚原1丁目3番20号



- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先（2021年4月1日～2022年3月31日）
- | | | | |
|-----|--------------|-------|------------------|
| 責任者 | 事務局長 | 山岸 進 | TEL：0266-72-2800 |
| 担当者 | 事務局次長・総務振興課長 | 山本 敦 | TEL：0266-72-2800 |
| 担当者 | 経営支援課 | 高柳 麻美 | TEL：0266-72-2800 |
| 担当者 | 総務振興課 | 矢崎美喜子 | TEL：0266-72-2800 |

- (4) 事業内容
茅野市内の商工業振興・発展に関する事業活動

- (5) 事業の規模
- | | |
|-----|-------------------|
| 会員数 | 1, 372社 |
| 収入額 | 1億6千万円 |
| 事務局 | 役員（専務理事）1名 職員 13名 |

茅野商工会議所会館（延べ床面積：1, 804㎡）	
場所	名称
1階	（テナント）長野証券株式会社茅野営業所 （テナント）自衛隊長野地方協力本部諏訪地域事務所 （テナント）茅野・産業振興プラザ
2階	茅野商工会議所 会員交流ラウンジ
3階	役員会議室A 役員会議室B 301会議室 302会議室（諏訪広域専門指導員事務室） （テナント）株式会社アーバンテック （テナント）アクサ生命保険株式会社諏訪営業所茅野分室
4階	大会議室 （テナント）茅野ライオンズクラブ

※ 茅野商工会議所会館には上記の5つの企業・団体等がテナントとして入居しております。5つのテナントについてはエコアクション21の活動の対象範囲外としておりますが、当所の認証取得のために、参加、協力を得ています。

- (6) 事業年度 4月～3月

○ 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 茅野商工会議所

活動： 商工会議所法に基づく地域経済団体として茅野市内における商工業の総合的改善発達を図り、もって商工業の発展に寄与する。

- ・ 商工業の振興
- ・ 小規模事業者に対する経営支援
- ・ 地域振興事業
- ・ 商工業に関する技能検定
- ・ 商工業に関する証明、輸出品の原産地証明
- ・ 商工業に関する情報の収集と提供
- ・ 会員企業の福祉増進
- ・ 行政庁への意見具申・建議

令和3年度（2021年度）の主な事業活動



テイクアウトちのスクラッチ
キャンペーン事業
(R3. 8)



女性会フードドライブ事業
(R3. 8)



新型コロナウイルスワクチン
職域接種
(R3. 9～R3. 11)



青年部災害ボランティア活動
(R3. 9. 11/12/16)



高部災害義援金 茅野市へ寄贈
(R3. 11. 22)

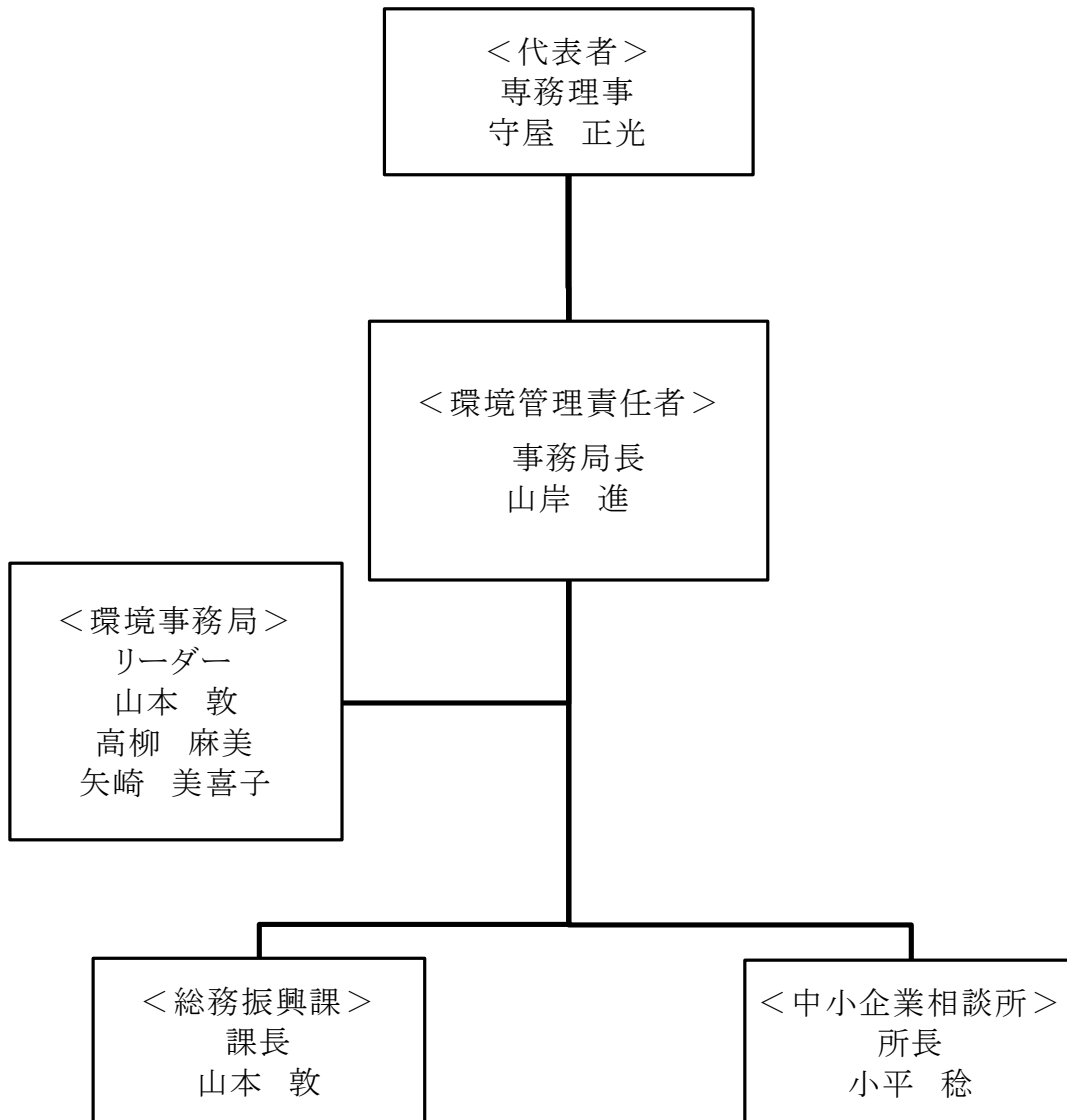


茅野市まちの300クーポン事業
(R3. 12)

作成者：高柳 麻美
更新日：2019年5月1日

作成日：2010年7月8日
更新日：2011年5月16日
更新日：2012年4月2日
更新日：2014年4月1日
更新日：2014年12月26日
更新日：2015年7月21日
更新日：2016年10月1日

茅野商工会議所 実施体制図



○環境負荷の実績（基準年度）

環境への負荷			単位	2009 年度
①	温室効果ガス排出量	合計	Kg-CO ₂	51,625
	二酸化炭素排出量	合計	Kg-CO ₂	51,625
	電力 (0.411 Kg-CO ₂ /kwh)		Kg-CO ₂	28,924
	化石燃料	小計	Kg-CO ₂	22,701
	灯油		Kg-CO ₂	16,307
	液化石油ガス(LPG)		Kg-CO ₂	294
	ガソリン		Kg-CO ₂	6,100
②	廃棄物等総排出量	合計	k g	4,096.63
	一般廃棄物	小計	k g	4,096.63
	産業廃棄物	小計	k g	0
③	総排水量及び水使用量			
-1	総排水量			
	下水道		m ³	380
-2	水使用量			
	上水		m ³	380
④	コピー用紙使用量		k g	865.85

○環境目標とその実績

環境方針 (キーワード)	環境目標 項目	基準	単位	内容	2009年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2020年度	
					(基準年度)	(本年度)	(1年後)	(2年後)	(3年後)	(4年後)	(前年度)	
二酸化炭素排出量の削減	電力	使用量	kWh	目標	---	72,692	72,692	72,692	72,692	72,692	72,692	
				実績	76,518	80,113					71,260	
		排出量	kg-CO2	目標	---	29,876	29,876	29,876	29,876	29,876	29,876	
				実績	28,924	32,926					29,288	
		使用量および排出量		目標 基準年度比	---	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	2021年度の 対前年度比	
				目標値に対する実績値	---	110.2%					112.4%	
		灯油	使用量	ℓ	目標	---	6,282	6,282	6,282	6,282	6,282	6,282
					実績	6,544	0					0
	排出量		kg-CO2	目標	---	15,655	15,655	15,655	15,655	15,655	15,655	
				実績	16,307	0					0	
	使用量および排出量			目標 基準年度比	---	96%	96%	96%	96%	96%	2021年度の 対前年度比	
				目標値に対する実績値	---	0.0%					0.0%	
	液化石油ガス（LPG）	使用量	kg	目標	---	78	78	78	78	78	78	
				実績	98	25					32	
		排出量	kg-CO2	目標	---	235	235	235	235	235	235	
				実績	294	76					95	
		使用量および排出量		目標 基準年度比	---	80%	80%	80%	80%	80%	2021年度の 対前年度比	
				目標値に対する実績値	---	32.3%					80.0%	
		ガソリン	使用量	ℓ	目標	---	2,548	2,548	2,548	2,548	2,548	2,548
					実績	2,627	903					921
	排出量		kg-CO2	目標	---	5,917	5,917	5,917	5,917	5,917	5,917	
				実績	6,100	2,096					2,139	
	使用量および排出量			目標 基準年度比	---	97%	97%	97%	97%	97%	2021年度の 対前年度比	
				目標値に対する実績値	---	35.4%					98.0%	
合計値	排出量	kg-CO2	目標	---	51,683	51,683	51,683	51,683	51,683	51,683		
			実績	51,625	35,098					31,522		
			目標基準年度比	---	100.1%	100.1%	100.1%	100.1%	100.1%	2021年度の 対前年度比		
目標値に対する実績値	---	67.9%					111.3%					
廃棄物の削減	排出量の削減 及びリサイクルの促進	排出量	kg	目標	---	2,458	2,458	2,458	2,458	2,458	2,458	
				実績	4,097	1,208					1,271	
			目標基準年度比	---	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	2021年度の 対前年度比		
目標値に対する実績値	---	49.1%					95.0%					
水使用量の削減	節水の徹底	使用量	m³	目標	---	346	346	346	346	346	346	
				実績	380	276					285	
			目標基準年度比	---	91.1%	91.1%	91.1%	91.1%	91.1%	2021年度の 対前年度比		
目標値に対する実績値	---	79.8%					96.8%					
紙使用量の削減	コピー用紙の 節約及び有効活用	使用量	kg	目標	---	623	623	623	623	623	623	
				実績	866	823					629	
			目標基準年度比	---	72.0%	72.0%	72.0%	72.0%	72.0%	2021年度の 対前年度比		
目標値に対する実績値	---	132.1%					130.8%					
会員サービス	指導員訪問件数	活動量	件	目標		1680	1680	1680	1680	1680	1680	
				実績		1684					2204	
			目標値に対する実績値		100.2%					2021年度は 76.4%		

電力の二酸化炭素排出係数

電気事業者別排出係数 平成27年度実績・H28.12.27公表 丸紅新電力㈱ 0.411kg-co2/kwh 使用

会員事業所への環境活動の啓発推進：SDGs 関連メルマガ送信（セミナーやワークショップの案内）

令和3年6月10日／令和3年6月16日／令和3年7月5日

脱炭素関連メルマガ送信（セミナーや講習会案内）

令和3年11月22日

○環境活動計画及び取組結果とその評価

環境方針 (キートン)	環境目標項目	実 績	評 価	判定	課 題
二酸化炭素 排出量の 削減	達成手段 電 力	電力の二酸化炭素排出量	職員が意識して照明等の節電に努めている。会館電球のLED化を継続的に実施している。冬場のエアコンの集中始動を避けるため（基本使用料金が上がるため）事務所内一部限定で常時稼働させている。このため目標値を上回る結果となっている。	×	節電意識は高まりつつあるため継続的な活動が重要。蛍光灯を順次省エネタイプに入れ替えていく。冬場のエアコン常時稼働における電気使用料金への効果がどうか、しばらく傾向を見るとともに常時稼働について検討が必要と思われる。
	灯 油				
	現在使用せず 緊急時のストーブでの利用が想定される				
	液化石油ガス（LPG）	LPGの二酸化炭素排出量	継続してお湯を使用しない時はガス栓を閉めることを徹底する。目標は達成できており、対前年比でも下回っている。引き続きコロナ禍で会議も少なく、お湯を沸かす機会も少ないと思われる。	○	夏場、ガスの元栓を締める、冬場の使用量を抑えるなどの活動を今後も継続し、現状維持に努める。
	やかんのお湯を沸かしすぎない 湯沸かし器を適正温度で使用				
	ガソリン	ガソリンの二酸化炭素排出量	コロナ禍で、イベント中止、リモート会議、研修への代替等で、車の利用が減少していることなどを含めて目標達成となる。	○	経済活動が戻ってきた際も、近い所への移動は車の利用を控える。又、冬場の暖房はエアコンを切り、熱の送風とし、アイドリングストップ、エコドライブに心掛け、効率的な企業訪問をする。
	エコドライブの徹底 法定速度の遵守 急発進・急加速・空ぶかしの禁止 近距離移動時は車を使用しない 順次エコタイヤを導入 燃費の良い軽自動車利用推奨 企業訪問の効率化				
	合 計 値	二酸化炭素排出量の合計値	二酸化炭素総排出量の目標値、36,028kg-CO2に対して、実績値35,098kg-CO2と目標は達成したが、僅差である。エアコン稼働による電力使用量の増が影響していると思われる。冬場のエアコン稼働について、傾向を見ている。	○	二酸化炭素の総排出量の目標は達成しているが、対前年比118%で、冬場の事務所内エアコンの一部常時稼働によるものと思われる。始動が集中すると電気基本料金が1年間上がってしまう危険があるため、常時稼働との推移を見ていきたい。
	目標値 36,028 kg-CO2 実績値 35,098 kg-CO2				
廃棄物の 削減	排出量の削減及びリサイクルの促進	廃棄物の削減状況	分別の意識が定着し目標を達成できた。今後も継続して活動に取り組む。	○	コロナ禍による振興事業縮小も考えられるが、これまでの活動を継続し、現状維持に努める。
	廃棄物と資源物の分別を徹底 (茅野市のルールである9種類17分別の遵守)				
水使用量の 削減	節水の徹底	節水の徹底状況	目標値346m³に対して実績値276m³と目標達成、対前年でも下回っている。引き続きコロナ禍で湯茶等の提供手控えも要因と思われるが、節水の意識向上を心がけ活動の継続に努める。	○	節水に対する意識は定着しつつあるため活動を継続する。水道管の水漏れなど設備老朽化対策として、使用量の管理を徹底しながら、設備のメンテナンスも検討する。
	トイレ、給湯室での節水を徹底				
紙使用量の 削減	コピー用紙の節約及び有効活用	コピー用紙の削減状況	目標の132%で、オーバーとなる。2ヶ月間にわたるコロナワクチン接種に係る予約名簿作成、個別相談時に利用する補助金要綱、計画書等の書類作成が要因と考えられる。事業や支援の一環である。	×	事業活動や、経営支援の重要な内容に付随するものであるが、大量印刷時の余分を減らし、両面印刷、印刷ミス削減で印刷量削減の取り組みを強化するとともに職員間はデータでの連絡を強化する。
	両面印刷・裏紙使用の徹底 印刷ミスの防止 紙資料の電子データ保存 通知資料のFAX化、メール化推進				
会員企業 巡回件数	会員サービス向上・巡回件数	会員企業巡回件数	経営指導員1人当たりの巡回訪問や、窓口、電話での支援件数を35件/月と設定し取り組みを実施。目標件数1680件/年に対して1684件/年と目標達成。	○	コロナ禍による経営相談を中心に、補助金申請支援等の需要が多く、感染対策をしながら巡回、窓口相談等に対応していく。引き続き効率良く質の高い経営支援体制づくりを目指す。
	本来業務の取り組みを活動に反映させる。指標としては、会員サービス向上に繋がる巡回件数を設定する。				

○今後の取組内容

1. 電 力

- ・ 館内の照明を省エネタイプ（ＬＥＤなど）の物に順次取り換えていく。
- ・ 事務所や会議室のお昼休み・帰宅時の消灯や事務所に無駄に残らないよう徹底する。
- ・ 夏場や厳冬期に業務効率が落ちない程度にエアコンの稼働時間削減と室温管理を行うとともに、冬場は始動の集中が起きるので、電気基本使用料金に影響しないよう事務所のエアコン一部常時稼働を行い使用量のデータをとるとともに常時稼働についても対応策を検討する。

2. 灯 油

- ・ 緊急時のストーブ利用のため、ストックとして灯油を管理していく。
- ・ ストーブについて停電時に発電機で利用できるようにする。

3. 液化石油ガス（ＬＰＧ）

- ・ お湯を沸かしすぎない、湯沸かし器の適正温度による使用、夏場のガスの元栓を締めるなどの活動を継続し、現状維持に努める。

4. ガソリン

- ・ 近い所への移動時には車を使わないよう心掛ける。余裕をもって行動する。
- ・ 車の夏場のエアコン使用を適温で利用する。
- ・ エコドライブ、アイドリングストップ、法定速度の遵守などを徹底する。
- ・ 企業訪問などの巡回時には、効率的な道順に従って運転する。
- ・ エコタイヤの導入を推進する。

5. 廃棄物の削減及びリサイクルの促進

- ・ 燃えるゴミの減量化、紙類の資源化の徹底など、５Ｓ活動とも連携を図りながら活動を継続し、目標を達成している現状維持に努める。

6. 節水の徹底

- ・ 節水に対する意識は高まっているため継続した活動を実施する。さらに、設備の老朽化対策として、定期的な水の使用量の管理を行い、定期的な点検を実施する。

7. コピー用紙の節約及び有効活用

- ・ 大量印刷の際の余分な印刷の削減や印刷ミス削減の取り組みを実施する。
- ・ 会議で配布する資料削減と、スクリーン投影による会議などの取り組みも継続する。

8. 事務用品のグリーン購入

- ・ エコマークが付いていない商品から先に使用して入れ替えを進め、グリーン購入対象商品の比率を高めていく。

9. 会員サービス

- ・ 会員企業への質の高い経営支援を巡回や窓口相談により効率的に実施することで、会員サービスの向上を図る。さらに、SDGs等、会員事業所が環境経営の意識を高められる活動を継続して実施する。

○環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

当所は、環境管理責任者 山岸 進 が責任者となり、当所に適用される環境関連法規制等のチェックを2021年5月11日に行ない、今期（および過去3年間）違反・訴訟等はありませんでした。また環境問題に関して関係機関及び近隣住民からのクレームも発生していませんでした。当所の事業に適用される環境関連法規制等は、下記の通りです。

適用される法規制等要求事項

法規制等の名称	該当する要求事項	関連条例による規制	評価
廃棄物処理法	廃棄物と資源物の分別を徹底	茅野市のルールである 9種類 17 分別の遵守	○
破棄物処理法施行令	水銀使用製品の分別、廃棄処理の委託		○
フロン排出抑制法	空調機器の適正管理		○
P C B 廃棄物特別措置法	ポリ塩化ビフェニル廃棄物		○
消防法	火災、地震その他の災害の予防と人命の安全、被害の軽減を図ること	当所会館消防計画の遵守	○
自動車リサイクル法	自動車所有者の責務		○
家電リサイクル法	テレビ・冷蔵庫の廃棄		○

○代表者による全体の評価と見直し

1、環境活動の取り組み 全体の評価

2021年度エコアクション21環境活動結果は、二酸化炭素排出量合計値が目標値に対して実績値67.9%となり目標達成しました。しかしながら、対前年比では111.3%と上回っております。LPG、ガソリン共に前年を下回る中、(灯油の使用は0)、電力におけるCO2排出量が目標に対し110.2%、対前年比112.4%となりました。エアコンの始動が集中しないように、冬場の特に厳寒期は事務所の一部のエアコンについて常時稼働させ、室温をある程度一定にしておく方法を試験的に運用している事が要因と考えられ、状況を総合的に判断して今後対応していきたいと思います。また、コピー紙も目標オーバーとなりました。新型コロナウイルスに関する補助金要綱の提供、クーポン事業等、支援が充実したととらえる中、全体として年間では目標達成しました。二酸化炭素削減に対する職員の意識は定着してきておりますが、再認識を促すとともにフレックスタイム制(働き方改革の一環)による勤務時間の平準化や、会議室の利用状況を考慮しながら目標達成に向け、来年度も改善を継続して進めていきます。

環境経営や健康経営はSDGsの取組に沿いますので、当所では次年度の事業計画には長野県SDGs推進企業登録制度に申請していくこととし、健康経営にも取り組んでまいります。

最後に、所内の活動に留まらず、会員事業所の環境経営、健康経営の意識付けを行うための支援を継続して実施して参ります。

2、全体の見直し(今後の課題)

エアコンの設置により空調管理がしやすい状況となっておりますが、朝などに稼働が集中すると負荷が過大となり電気基本使用料がランクアップする不都合が起きます。このため行っている一部のエアコンの常時稼働については、現在様子を見ながら電気使用量のデータをとっているところですが、少しでも使用量削減できる方法がないか、検討し改善活動を行っていききたいと思います。あわせて、所内の自主活動とエコアクション21の活動を連動させて改善活動を推進し「本来業務の改善」を更に進めるとともに、セミナー等を活用しながら長野県SDGs推進企業申請、登録後も、重点的な取組みの達成に向けて継続した活動を行ってまいります。

茅野商工会議所

専務理事 守屋 正光